

「公正で健全な競争政策」を議論するに当たって

2021/02/10

竹中平蔵

## 1 議論を進めるに当たっては、以下のような原則を踏まえるべき

- (1) 過去の議論の蓄積を踏まえ、広い分野について議論する
- (2) 広く識者の意見を徴収し、開かれた会議とする
- (3) デジタル化・グリーン化を含む経済成長に資する競争政策を論じる

## 2 競争政策に関する基本認識

・大竹文雄「競争と公平感」(中公新書) 2010

「市場競争とは、インセンティブの与えられ方の一つである。厳しい競争に晒されることは辛いかもしれないが、・・・・市場競争は私たちに豊かにするという副産物をもたらす。・・・・競争メカニズムを使うことが不適切であったり、うまく機能しない分野が存在することは事実である。しかし、現実の社会では私たちは市場競争とうまく付き合っていかなければならない。」

・ジャン・ティロール「良き社会のための経済学」(日経BP) 2018

「市場原理を導入するには、二つの方法がある。市場のために導入する方法と、市場の中で導入する方法だ。」

従来 of 市場内での競争を促進し市場閉鎖を防ぐ

独占市場への健全なチェック・圧力を確保する

環境変化 (デジタル化、人口減少、コロナ禍など) を踏まえた リデザイン が必要

## 3 事務局への依頼

諸外国における公正で健全な競争政策に関連する事例を調査し紹介して  
頂きたい

(例) オーストラリアの Productivity Commission、イギリスの  
Ofwat, Oftel など

競争政策に関する過去の議論で、十分実現されていない問題を洗い出し  
て頂きたい。

(例) 2004年3月19日閣議決定「規制改革・民間開放推進3ヶ年計画」

(参考) 競争政策に関しよく聞く素朴な疑問

- ・農業・医療・保育などの分野での企業参入の制限は、競争を阻害していないか？
- ・減反政策（適正生産量）はカルテルではないのか？
- ・エアライン産業における過去の政策（特定企業の実質救済）は、競争を歪めているのではないか？
- ・NTTとドコモが一体化したら、他の携帯会社は特殊会社と競争することになる。公平と言えるか？
- ・電力の自由化が進んだことになっているが、発電市場は大手電力が8割を占め、発電と小売は同一会社で運営されている。小売部門のみの新電力が圧倒的に不利な状況ではないか？
- ・「特殊法人等整理合理化計画」（2001年）民営化対象32社のなかに、政府・自治体などが全ての株式を保有し民間開放が進んでいない法人が存在するが、これでよいのか？
- ・消費者の自由な選択を阻害するような、いわゆるプラットフォームについては、その活用を妨げないようにしつつ、何らかの規制が必要ではないか？
- ・タクシーの需給規制やライドシェア禁止は、寡占状態の維持に繋がっていないか？
- ・関西空港・仙台空港などでは、コンセッション制度に基づく競争を通じて最もよい提案をした事業者に運営を委ねている。なぜ東京圏（羽田・成田）ではそのようにしないのか？
- ・公正取引委員会の体制を一層拡充し、とりわけ「アドボカシー」に関しては外部の人材活用を含めて強化すべきではないか。